

小牧市上下水道事業の令和5年度決算

1. 水道事業

1. 1. 概況

表1 過年度の水道事業概況

	単位	R1	R2	R3	R4	R5
給水人口	人	152,768	151,837	150,601	150,106	149,128
配水量	m ³	19,849,512	20,301,628	19,986,426	19,743,255	19,577,527
有収水量	m ³	18,505,255	18,862,511	18,588,645	18,285,606	18,001,312
有収率	%	93.23%	92.91%	93.01%	92.62%	91.95%
県水受水量	m ³	12,798,514	13,373,190	12,906,730	12,789,770	12,651,470
自己水率	%	35.52%	34.13%	35.42%	35.22%	35.38%
料金収入	千円	2,329,461	2,039,749	2,326,186	1,871,548	2,266,592
供給単価	円/m ³	125.88	108.14	125.14	102.35	125.91



図1 給水人口の過年度推移

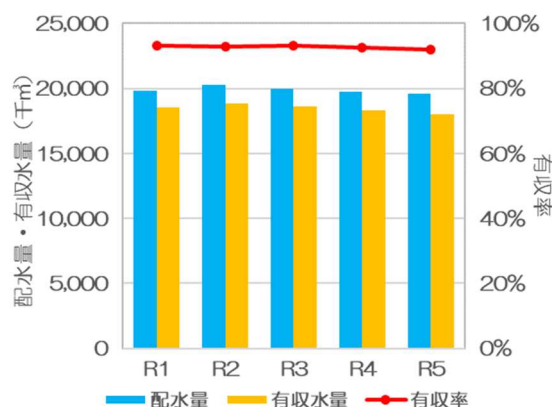


図2 配水量・有収水量・有収率の過年度推移

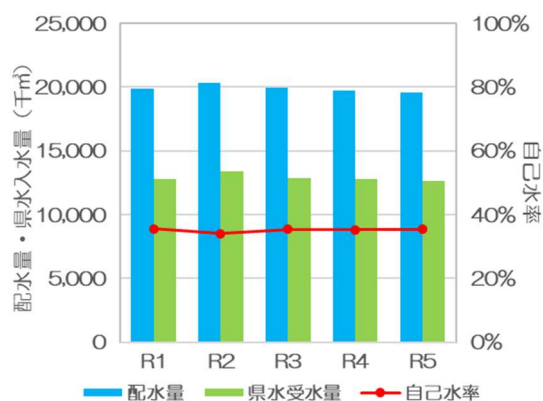


図3 配水量・県水受水量・自己水率の過年度推移

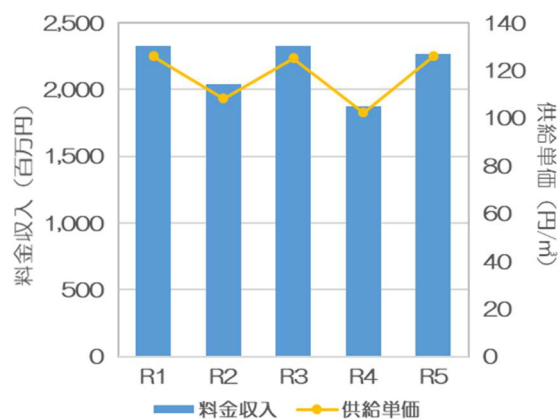


図4 料金収入・供給単価の過年度推移

1. 2. 主な事業

(1) 令和5年度の主な事業

ソフト	ハード
■普及活動 ➤ 水道週間啓発活動（あいちの水配布等） ■その他 ➤ 小牧市水道水質検査計画に基づく水質検査	□修繕・改築 ➤ 東部3号取水井の清掃修繕 ➤ 大山中継ポンプ場貯水槽の内面防水等修繕 □耐震化 ➤ 幹線耐震ループ化計画（ループ管）事業 ➤ 送水管（横内浄水場～本庄配水池）整備事業

(2) 配水管の総延長

表2 配水管の総延長

単位：m

R4末総延長	R5整備延長	R5廃止延長	R5末総延長
①	②	③	④＝①＋②－③
917,961	6,451.7	5,007.3	919,405.4

(3) 更新延長、管路経年化率、管路更新率

表3 管路更新に係る指標

	単位	R5	R4	比較
更新延長	m	4,610	3,580	1,030
管路経年化率	%	32.74	31.36	1.38
管路更新率	%	0.50	0.39	0.11

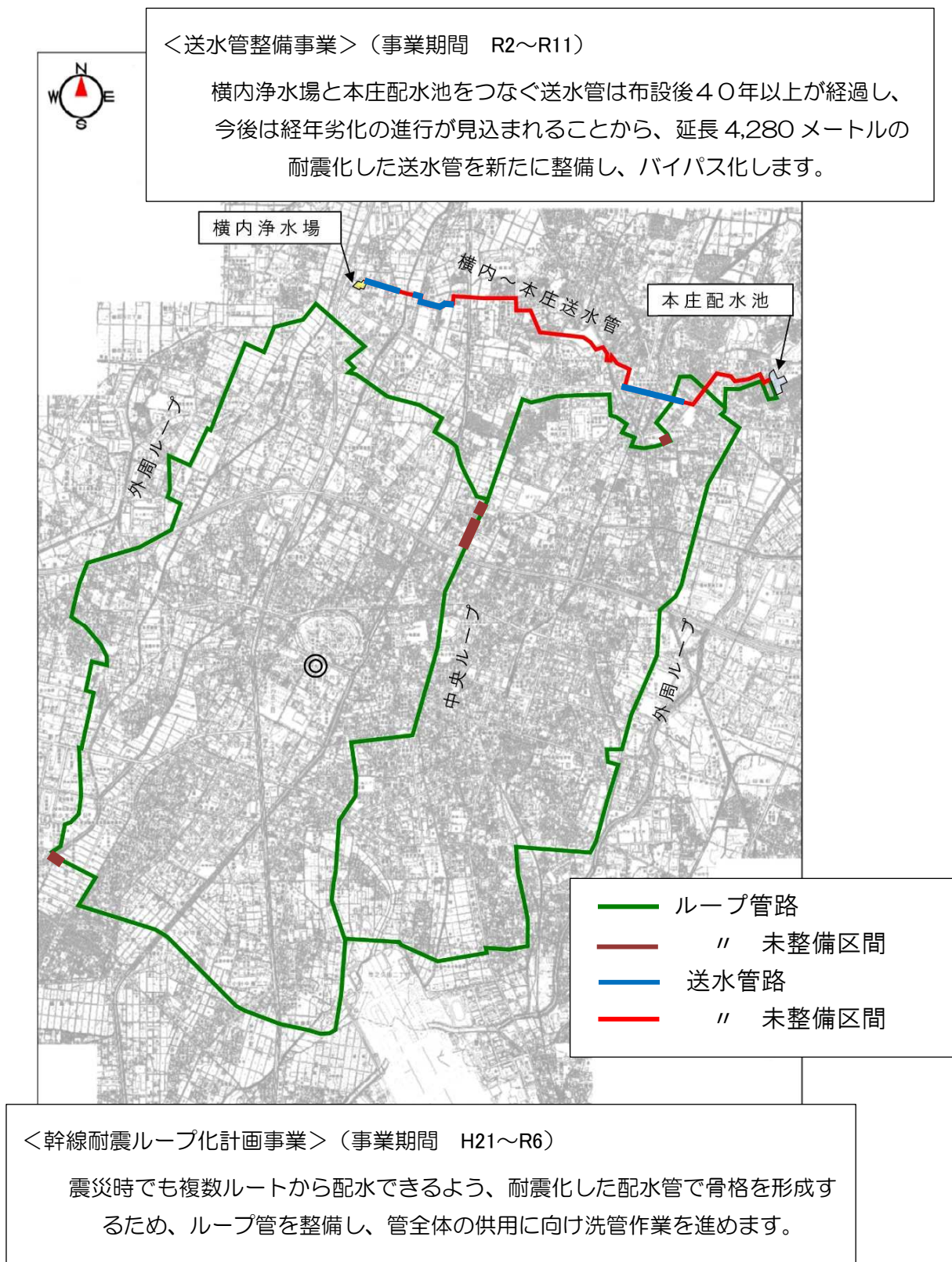


図5 水道事業の工事箇所図

1. 3. 決算報告

(1) 収益的収入

表4 収益的収入の実績と対前年度比較

(税抜)(単位：円)

		R5	R4	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業収益	給水収益 (水道料金収入)	2,266,591,555	1,871,547,842	395,043,713	121.11
	他会計負担金 (一般会計からの負担金収入)	4,221,980	6,665,620	△ 2,443,640	63.34
	その他の営業収益	169,623,440	153,357,357	16,266,083	110.61
		2,440,436,975	2,031,570,819	408,866,156	120.13
営業外収益	受取利息及び配当金	4,593,657	4,617,618	△ 23,961	99.48
	他会計補助金 (一般会計からの補助金収入)	730,000	430,959,550	△ 430,229,550	0.17
	長期前受金戻入	310,190,706	313,140,981	△ 2,950,275	99.06
	雑収益	15,821,134	13,143,649	2,677,485	120.37
		331,335,497	761,861,798	△ 430,526,301	43.49
特別利益	固定資産売却益	60,000	0	60,000	皆増
	過年度損益修正益	43,453	1,645,631	△ 1,602,178	2.64
	その他特別利益	24,261,595	391,735	23,869,860	6,193.37
		24,365,048	2,037,366	22,327,682	1,195.91
合計		2,796,137,520	2,795,469,983	667,537	100.02

【増減の大きな項目】

- 給水収益：令和4年度に、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、原油価格や物価の高騰の影響を受ける市民生活および経済活動への支援として、水道料金の基本料金約4億3千万円の免除を行ったため、約3億9千5百万円の増加
(※仮にこの減免が無ければ令和4年度に比べて約3千5百万円の減少となる)
- 他会計補助金：令和4年度に、前述の水道料金の基本料金減免に要する経費を一般会計から補助金として収入したのがなくなったことにより、約4億3千万円の減少
- その他特別収益：旧横内浄水場の解体に伴う長期前受金戻入などにより、約2千4百万円の増加

収益的収入の合計は、約67万円の増加となりました。

(2) 収益的支出

表5 収益的支出の実績と対前年度比較

(税抜) (単位：円)

		R5	R4	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業費用	原水及び浄水費 (原水取水、浄水施設の維持管理)	1,183,433,542	1,253,835,153	△ 70,401,611	94.39
	配水及び給水費 (給配水管路の維持管理)	144,168,968	129,297,301	14,871,667	111.50
	業務費 (開閉栓受付や料金徴収業務)	124,058,912	124,537,681	△ 478,769	99.62
	総係費 (総務及び経営管理)	84,387,572	85,472,102	△ 1,084,530	98.73
	減価償却費	905,004,726	853,508,404	51,496,322	106.03
	資産減耗費	35,054,667	24,753,007	10,301,660	141.62
		2,476,108,387	2,471,403,648	4,704,739	100.19
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	18,809,064	23,848,236	△ 5,039,172	78.87
	雑支出	1,590,443	687,338	903,105	231.39
		20,399,507	24,535,574	△ 4,136,067	83.14
特別損失	過年度損益修正損	896,860	1,245,865	△ 349,005	71.99
	その他特別損失	164,789,084	24,500,000	140,289,084	皆増
		165,685,944	25,745,865	139,940,079	643.54
合計		2,662,193,838	2,521,685,087	140,508,751	105.57

【増減の大きな項目】

- 原水及び浄水費：委託料や動力費の減少などにより約7千万円の**減少**
- 配水及び給水費：修繕費の増加などにより、約1千5百万円の**増加**
- その他特別損失：旧横内浄水場の解体に伴う委託料、工事請負費および固定資産除却費などにより、約1億4千万円の**増加**

収益的支出の合計は約1億4千百万円の**増加**となりました。

【収益的収支の計算】

収益的収入 2,796,137,520 円 — 収益的支出 2,662,193,838 円

＝純利益 133,943,682 円

(3) 資本的収入

表6 資本的収入の実績と対前年度比較

(税込) (単位：円)					
		R5	R4	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的収入	負担金 (給配水工事に係る負担金収入)	224,347,135	291,664,060	△ 67,316,925	76.92
	出資金 (一般会計からの出資金収入)	130,000,000	130,000,000	0	100.00
	他会計負担金 (一般会計からの負担金収入)	20,124,990	6,834,580	13,290,410	294.46
	固定資産売却代金	44,000	0	44,000	皆増
	その他資本的収入	200,000,000	0	200,000,000	皆増
		574,516,125	428,498,640	146,017,485	134.08

【増減の大きな項目】

- 負担金：給配水工事負担金の減などにより、約6千7百万円の減少
- 他会計負担金：消火栓新設移設工事が6件から18件に増加したことにより約1千3百万円の増加
- その他資本的収入：投資有価証券の満期償還により2億円の増加

資本的収入の合計は約1億5千万円の増加となりました。

(4) 資本的支出

表7 資本的支出の実績と対前年度比較

(税込) (単位：円)

		R5	R4	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的支出	建設改良費	1,810,609,746	2,657,174,809	△ 846,565,063	68.14
	拡張費 (基幹管路の整備、複線化事業)	986,766,377	758,774,270	227,992,107	130.05
	建設改良費 (老朽管路・施設の更新事業)	819,220,009	1,896,258,985	△ 1,077,038,976	43.20
	固定資産購入費	4,623,360	2,141,554	2,481,806	215.89
	企業債償還金	174,235,388	193,367,980	△ 19,132,592	90.11
	投資	100,000,000	100,000,000	0	100.00
		2,084,845,134	2,950,542,789	△ 865,697,655	70.66

【増減の大きな項目】

- 拡張費：基幹管路整備事業などにより約2億2千8百万円の増加
- 建設改良費：横内浄水場更新事業の完了などにより約10億7千7百万円の減少

資本的支出の合計は約8億6千6百万円の減少となりました。

【キャッシュ・フロー計算書】

①業務活動によるキャッシュ・フロー：業務 CF

当年度純利益や減価償却費などの増加額と長期前受金戻入や利息支払などの減少額により算出

②投資活動によるキャッシュ・フロー：投資 CF

有形固定資産の取得による支出と一般会計からの工事負担金等による収入により算出

③財政活動によるキャッシュ・フロー：財政 CF

企業債償還による支出と出資金による収入により算出

資金期末残高

$$\begin{aligned}
 &= \text{資金期首残高} + (\text{①業務 CF} + \text{②投資 CF} + \text{③財政 CF}) \\
 &= 4,866,643,712 \text{ 円} + (1,188,631,425 \text{ 円} - 2,134,554,130 \text{ 円} - 44,235,388 \text{ 円}) \\
 &= 3,876,485,619 \text{ 円 (990,158,093 円の減少)}
 \end{aligned}$$

(5) 貸借対照表

表8 貸借対照表の概要

単位：千円

			R6.3.31	R5.3.31	増減額	
資産の部	固定資産	有形固定資産	23,208,369	22,547,739	660,630	
		無形固定資産	11,463	14,776	△ 3,313	
		投資その他資産	200,000	299,971	△ 99,971	
			23,419,832	22,862,486	557,346	
	流動資産	現金預金	3,876,486	4,866,644	△ 990,158	
		未収金・貸倒引当金	371,065	992,612	△ 621,547	
		貯蔵品	22,948	21,459	1,489	
		前払金	280,300	179,105	101,195	
			4,550,799	6,059,820	△ 1,509,021	
		27,970,631	28,922,306	△ 951,675		
負債資本	負債の部	固定負債	企業債	597,703	755,790	△ 158,087
			引当金	11,081	5,587	5,494
				608,784	761,377	△ 152,593
		流動負債	企業債	158,086	174,235	△ 16,149
			未払金	921,901	1,819,107	△ 897,206
			前受金	940	48,459	△ 47,519
			引当金	16,813	17,461	△ 648
			その他流動負債	108,803	116,305	△ 7,502
				1,206,543	2,175,567	△ 969,024
		繰延収益	長期前受金	18,681,949	18,716,206	△ 34,257
			収益化累計額	△ 12,061,603	△ 12,005,679	△ 55,924
			建設仮勘定長期前受金	9,727	13,548	△ 3,821
			6,630,073	6,724,075	△ 94,002	
		8,445,400	9,661,019	△ 1,215,619		
	資本の部	資本金		15,925,584	15,482,443	443,141
				2,766,553	2,766,553	0
		剰余金	資本剰余金	833,094	1,012,291	△ 179,197
			利益剰余金	3,599,647	3,778,844	△ 179,197
			19,525,231	19,261,287	263,944	
			27,970,631	28,922,306	△ 951,675	

【主な分析指標】

自己資本構成比率 = 自己資本(資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 総資産(負債+資本) ×100

(総資産に占める自己資本の割合を示すもので、この割合が大きいほど経営が安定している)

固定資産対長期資本比率 = 固定資産 ÷ (自己資本+固定負債) ×100

(長期の安定性を示すもので、100%以下が望ましい)

流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 ×100

(短期債務に係る支払い能力・運転資金の状況を示すもので 200%以上が望ましい)

表9 主な分析指標の過年度推移

単位：%

	R1	R2	R3	R4	R5
自己資本構成比率	92.4	93.4	94.1	89.9	93.5
固定資産対長期資本比率	79.6	79.5	79.8	85.5	87.5
流動比率	903.3	965.7	941.7	278.5	377.2

1. 4. 経営指標

(1) 主な経営指標

表 10 主な経営指標の過年度推移

単位：％

	R1	R2	R3	R4	R5
経常収支比率	115.83	115.35	116.43	111.92	111.03
料金回収率	109.30	94.73	110.51	85.74	103.67
有形固定資産減価償却率	52.43	53.25	54.08	53.52	52.20

経常収支比率＝（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×１００

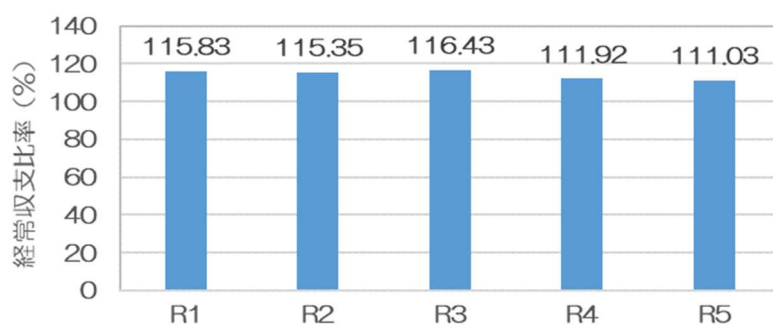


図6 経常収支比率の過年度推移

料金回収率＝供給単価÷給水原価×１００

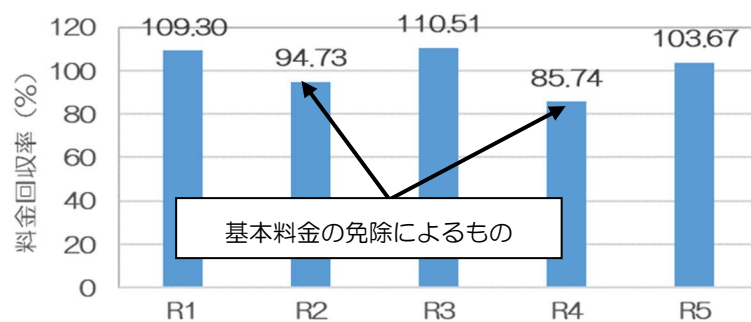


図7 料金回収率の過年度推移

有形固定資産減価償却率

＝有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産の内償却対象資産の帳簿原価×１００

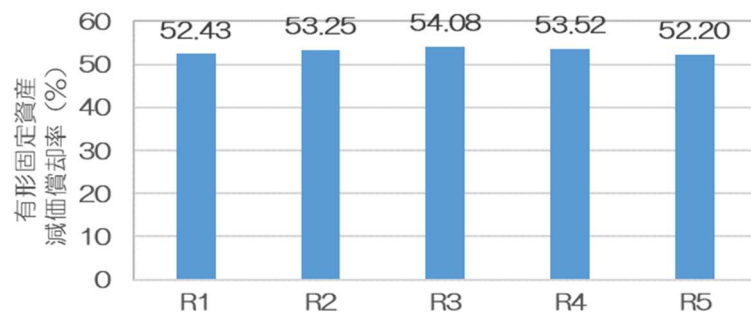


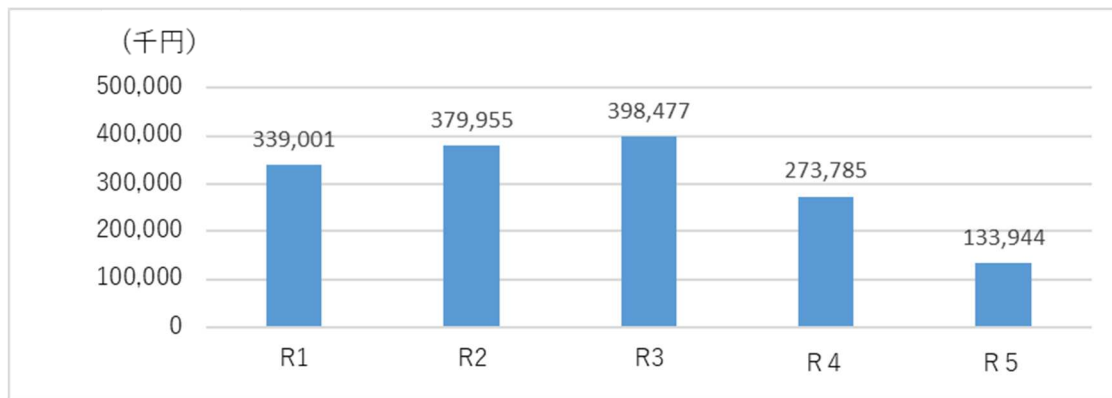
図8 有形固定資産減価償却率の過年度推移

(2) 純損益

表 11 収益的収支及び純損益の過年度推移

(税抜)(単位：千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
収益的収入	2,879,968	2,859,922	2,821,511	2,795,470	2,796,137
収益的支出	2,540,967	2,479,967	2,423,034	2,521,685	2,662,193
純損益	339,001	379,955	398,477	273,785	133,944



(千円)

図9 純損益の過年度推移

(3) 資金期末残高

表 12 資金期末残高の過年度推移

	単位	R1	R2	R3	R4	R5
資金期末高	千円	5,592,301	5,535,824	5,409,109	4,866,644	3,876,486
年度内増減額	千円	△ 35,615	△ 56,477	△ 126,715	△ 542,465	△ 990,158
前年度末比	%	99.37	98.99	97.71	89.97	79.65

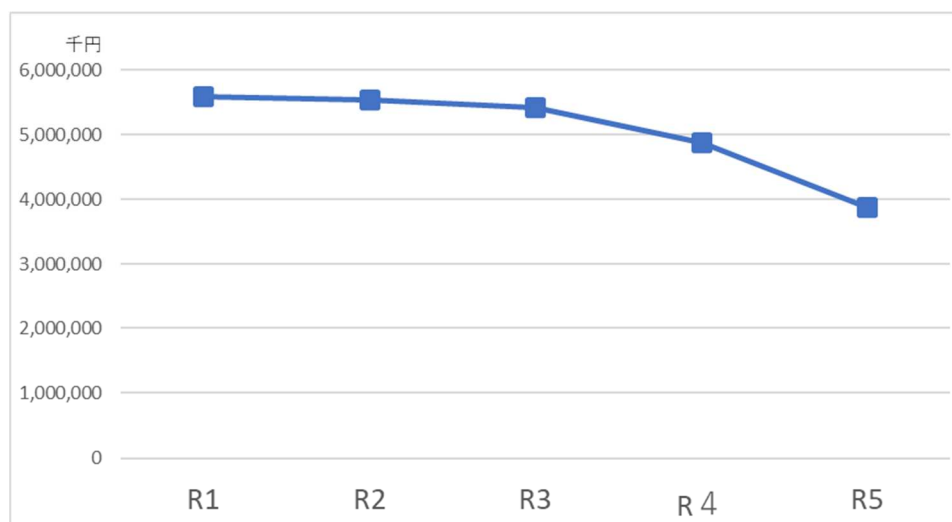


図 10 資金期末残高の過年度推移

(4) 企業債

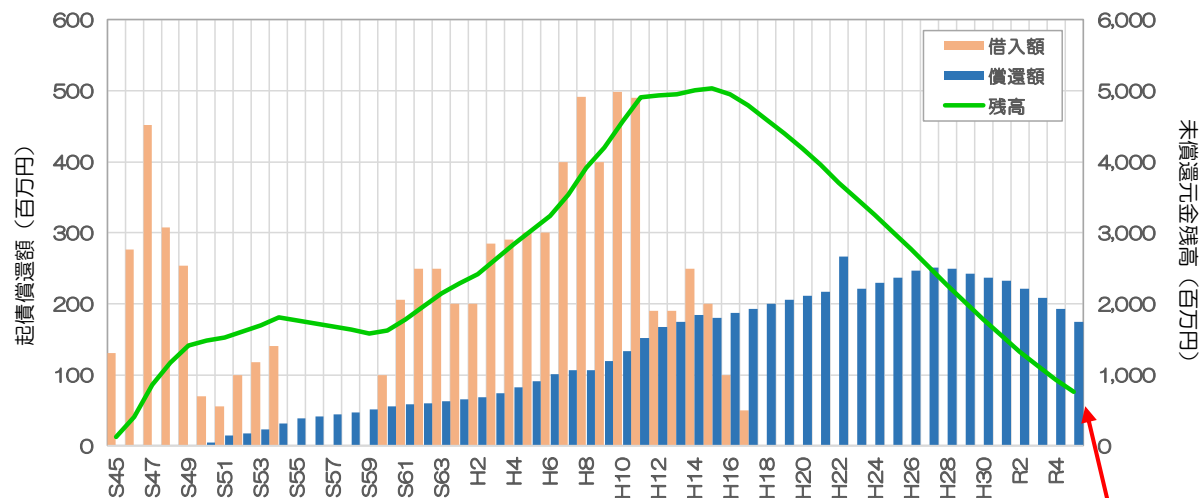


図 11 企業債の借入額と償還額、残高の実績

R5末残高：7億6千万円

1. 5. ビジョン・経営戦略の進捗

(1) 基本目標

基本目標1 【安全】「安全・安心な水道」の指標

指標 番号	指標名	単位	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R3(2021)
—	水質基準不適合率	(%)	0	0	0	0	0を維持	—
B101	自己保有水源率	(%)	28	29	29	29	28以上	21.3

基本目標2 【強靱】「災害に強く安定した水道」の指標

指標 番号	指標名	単位	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R3(2021)
B602	浄水施設の耐震化率	(%)	92.7	92.7	92.7	92.7	97.2	55.8
B504	管路の更新率	(%)	0.59	0.55	0.39	0.50	1.0以上	0.78
B605	管路の耐震管率	(%)	23.9	24.6	25.1	25.8	34.5以上	20.3
—	ループ管の整備率	(%)	94.8	95.9	96.4	98.3	100	—
—	重要給水施設への管路整備率	(%)	74.5	76.6	76.6	79.9	100	—
—	送水管（横内浄水場～本庄配水池）の整備率	(%)	0	7.2	7.2	23.2	100	—

基本目標3 【持続】「次世代へつなぐ持続可能な水道」の指標

指標 番号	指標名	単位	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R3(2021)
C102	経常収支比率	(%)	115.4	116.4	111.9	111.0	100以上	112.1

※指標番号は水道事業ガイドライン（P1）の番号です。

「—」の指標は本市が独自に定めた指標です。

2. 下水道事業

2. 1. 概況

(1) 公共下水道事業

表 13 過年度の下水道事業概況（公共下水道事業）

	単位	R1	R2	R3	R4	R5
水洗化人口	人	106,284	108,508	108,338	108,259	107,986
処理水量	m ³	16,337,860	16,906,445	16,766,054	16,422,917	16,369,113
有収水量	m ³	12,922,537	13,228,581	13,082,544	12,883,230	12,767,095
有収率	%	79.10	78.25	78.03	78.45	78.00
使用料収入	千円	1,167,994	1,174,779	1,162,388	1,151,902	1,140,790
使用料単価	円/m ³	90.38	88.81	88.85	89.41	89.35

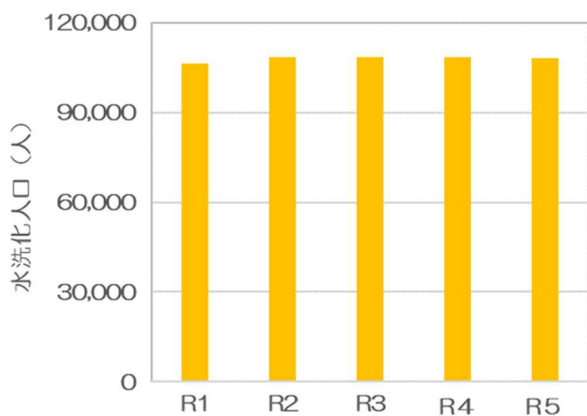


図 12 水洗化人口の過年度推移

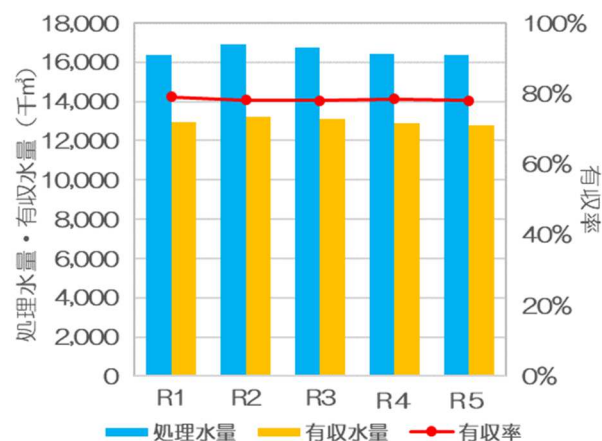


図 13 処理水量・有収水量・有収率の過年度推移

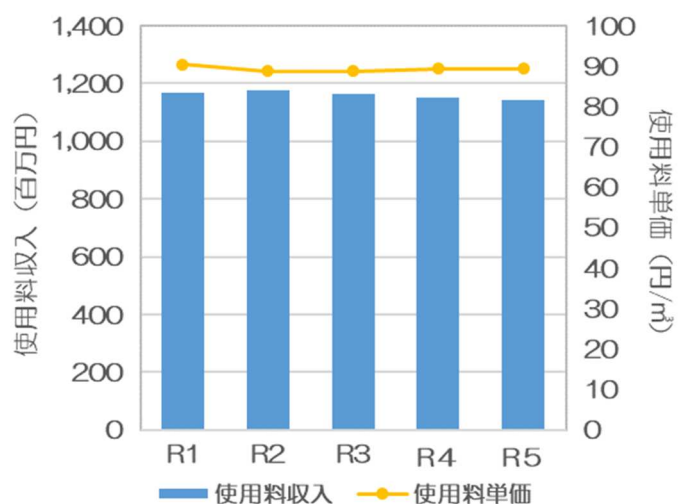


図 14 使用料収入・使用料単価の過年度推移

(2) 農業集落排水事業

表 14 過年度の下水道事業概況（農業集落排水事業）

	単位	R1	R2	R3	R4	R5
水洗化人口	人	1,085	1,084	1,097	1,075	1,071
処理水量	m ³	146,736	160,585	156,706	159,624	147,375
有収水量	m ³	111,119	114,617	113,903	111,097	109,701
有収率	%	75.73	71.37	72.69	69.60	74.44
使用料収入	千円	8,845	9,140	9,122	8,928	8,846
使用料単価	円/m ³	79.60	79.74	80.09	80.36	80.64

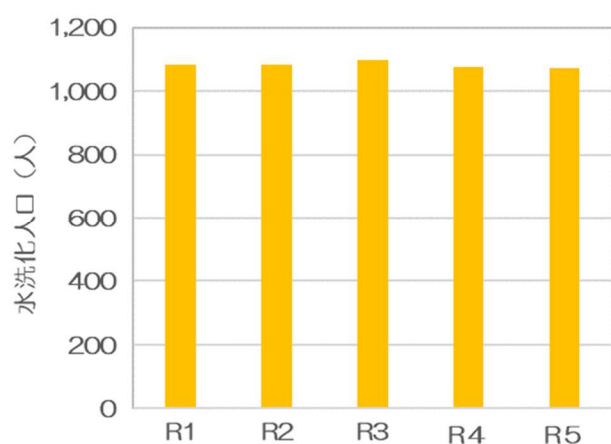


図 15 水洗化人口の過年度推移

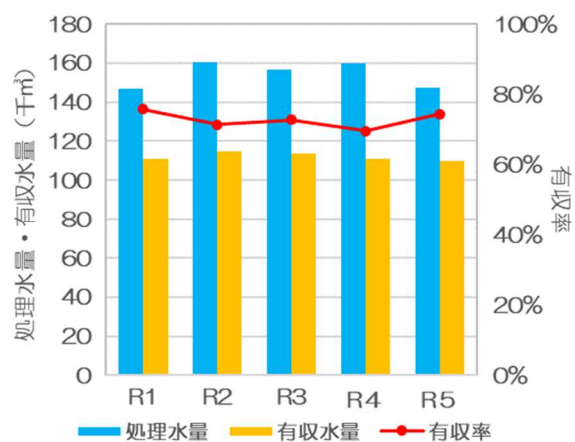


図 16 処理水量・有収水量・有収率の過年度推移

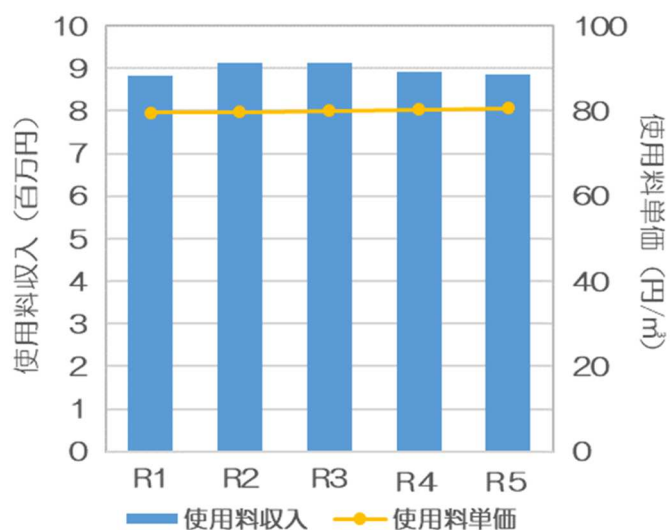


図 17 使用料収入・使用料単価の過年度推移

2. 2. 主な事業

(1) 令和5年度の主な事業

ソフト	ハード
■普及活動 ▶ いきいき小牧で下水道PRブースを設置 ▶ ウォーキングアプリ alko を利用した下水道の日チャレンジ企画 ▶ 啓発用トイレットペーパー設置 ■その他 ▶ マンホール点検業務の共同発注 （小牧市、北名古屋市、清須市、豊山町）	□未普及解消 ▶ 間々原・村中地区、下小針中島地区、久保一色地区、二重堀地区での污水幹枝線の新設 □改築・更新 ▶ 桃花台汚水中継ポンプ場再構築基本設計（耐震実施計画（非線形解析）） ▶ 公共下水道事業の管更生 ▶ 農業集落排水事業の管更生

(2) 下水道管渠の総延長

表 15 下水道管渠の総延長

単位：m

	R4末総延長	R5整備延長	R5廃止延長	R5末総延長
	①	②	③	④=①+②-③
公共下水道事業	715,666	2,893	32	718,527
農業集落排水事業	18,302	0	0	18,302
合 計	733,968	2,893	32	736,829

(3) 管更生、管渠老朽化率、管渠改善率

表 16 管更生に係る指標

		単位	R5	R4	比較
管更生	公共下水道事業	m	465	566	△101
	農業集落排水事業	m	1,122	1,243	△121
	合 計	m	1587	1,809	△222
管渠老朽化率		%	2.73	2.56	0.17
管渠改善率		%	0.22	0.24	△0.02

(4) 供用開始区域の推移

表 17 供用開始区域の推移

		R1	R2	R3	R4	R5
供用開始面積 (ha)	公共下水道事業	2,228	2,282	2,313	2,319	2,359
	農業集落排水事業	69	69	69	69	69
		2,297	2,351	2,382	2,388	2,428
供用開始人口 (人)	公共下水道事業	115,528	117,638	117,206	116,992	116,834
	農業集落排水事業	1,222	1,216	1,222	1,189	1,182
		116,750	118,854	118,428	118,181	118,016
人口普及率 (%)	公共下水道事業	75.59	77.43	77.78	77.90	78.30
	農業集落排水事業	0.80	0.80	0.81	0.79	0.79
		76.39	78.23	78.59	78.69	79.10

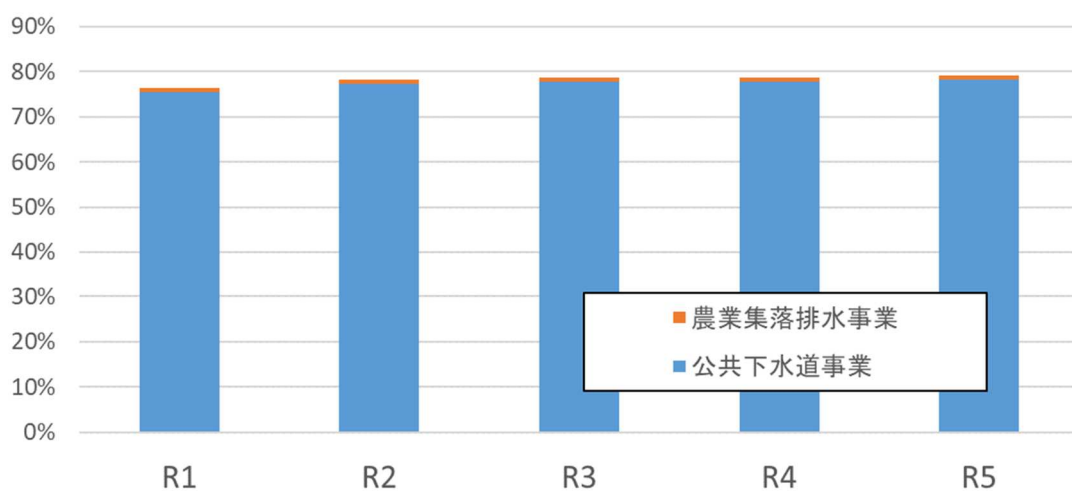


図 18 人口普及率の過年度推移

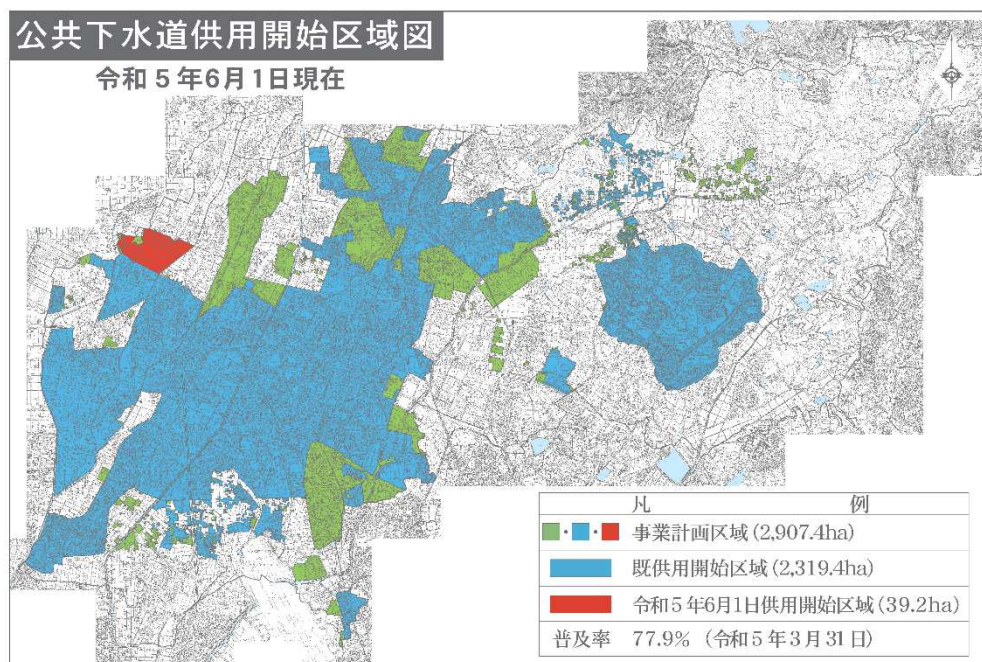


図 19 公共下水道供用開始区域図

2. 3. 決算報告

(1) 収益的収入

表 18 収益的収入の実績と対前年度比較

(税抜)(単位：円)

		R5	R4	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業収益	下水道収益 (下水道使用料収入)	1,149,635,791	1,160,830,275	△ 11,194,484	99.04
	他会計負担金 (雨水処理にかかる一般会計繰入金)	65,972,984	67,193,468	△ 1,220,484	98.18
	その他の営業収益	5,104,100	169,000	4,935,100	3,020.18
		1,220,712,875	1,228,192,743	△ 7,479,868	99.39
営業外収益	受取利息及び配当金	4,483	3,806	677	117.79
	他会計負担金 (汚水処理等にかかる一般会計繰入金)	317,852,318	207,529,562	110,322,756	153.16
	他会計補助金 (収支不足分に対する一般会計繰入金)	304,490,767	290,112,439	14,378,328	104.96
	長期前受金戻入	1,104,979,078	1,100,094,870	4,884,208	100.44
	雑収益	170,724	364,107	△ 193,383	46.89
		1,727,497,370	1,598,104,784	129,392,586	108.10
特別利益	過年度損益修正益	266,047	1,018,518	△ 752,471	26.12
	その他特別利益	13,359	0	13,359	皆増
	引当金戻入益	0	111,131	△ 111,131	皆減
		279,406	1,129,649	△ 850,243	24.73
合計		2,948,489,651	2,827,427,176	121,062,475	104.28

【増減の大きな項目】

- 下水道収益：節水に対する意識向上・人口減少などにより約 1 千 1 百万円の**減少**。
- 他会計負担金：維持管理費など収益的支出の増加により約 1 億 1 千万円の**増加**。

収益的収入の合計は 1 億 2 千 1 百万円の**増加**となりました。

(2) 収益的支出

表 19 収益的支出の実績と対前年度比較

(税抜)(単位：円)

		R5	R4	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業費用	污水管渠費	199,235,353	176,794,589	22,440,764	112.69
	污水ポンプ場費	25,788,629	26,116,215	△ 327,586	98.75
	流域下水道維持管理負担金	824,657,026	783,067,803	41,589,223	105.31
	雨水施設費	15,861,493	25,159,270	△ 9,297,777	63.04
	農業集落排水施設費	31,644,702	32,853,799	△ 1,209,097	96.32
	業務費 (接続受付や負担金徴収業務)	88,732,777	77,936,254	10,796,523	113.85
	総係費 (総務及び経営管理)	78,020,793	60,054,408	17,966,385	129.92
	減価償却費	1,521,477,476	1,506,665,578	14,811,898	100.98
	資産減耗費	6,666,790	9,063,872	△ 2,397,082	73.55
		2,792,085,039	2,697,711,788	94,373,251	103.50
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	122,852,937	133,258,079	△ 10,405,142	92.19
	雑支出	2,632,976	2,565,919	67,057	102.61
		125,485,913	135,823,998	△ 10,338,085	92.39
特別損失	過年度損益修正損	448,699	591,390	△ 142,691	75.87
	その他特別損失	30,470,000	0	30,470,000	皆増
		30,918,699	591,390	30,327,309	5,228.14
合計		2,948,489,651	2,834,127,176	114,362,475	104.04

【増減の大きな項目】

- 污水管渠費：管路調査委託料の増などにより約2千2百万円の増加
- 流域下水道維持管理負担金：1㎡当たりの負担金単価の増額により約4千2百万円の増加
- 総係費：事務所維持管理負担金の増などにより約1千8百万円の増加
- その他特別損失：道路維持補修工事により約3千万円の皆増

収益的支出の合計は約1億1千4百万円の増加となりました。

【収益的収支の計算】

収益的収入 2,948,489,651 円 — 収益的支出 2,948,489,651 円

＝純損益 0 円

(3) 資本的収入

表 20 資本的収入の実績と対前年度比較

(税込)(単位：円)					
		R5	R4	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的収入	企業債	330,500,000	376,200,000	△ 45,700,000	87.85
	負担金 (受益者負担金など)	139,649,420	45,273,620	94,375,800	308.46
	出資金 (収支不足分に対する一般会計繰入金)	576,559,674	609,135,073	△ 32,575,399	94.65
	他会計負担金 (雨水施設整備などにかかる一般会計繰入金)	129,391,272	76,881,427	52,509,845	168.30
	補助金 (国庫補助金)	210,050,000	225,650,000	△ 15,600,000	93.09
		1,386,150,366	1,333,140,120	53,010,246	103.98

【増減の大きな項目】

- 企業債：污水管整備工事や雨水幹線整備工事の翌年度繰越などにより約4千6百万円の減少
- 負担金：供用開始面積増に伴う受益者負担金の増などにより約9千4百万円の増加
- 他会計負担金：翌年度繰越された雨水幹線整備工事に対する財源の前受により約5千3百万円の増加

資本的収入の合計は約5千3百万円の増加となりました。

(4) 資本的支出

表 21 資本的支出の実績と対前年度比較

(税込)(単位：円)

		R5	R4	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的支出	建設改良費	1,115,391,865	1,107,963,038	7,428,827	100.67
	污水管渠建設改良費	718,284,611	612,521,364	105,763,247	117.27
	污水ポンプ場建設改良費	31,589,000	20,660,000	10,929,000	152.90
	流域下水道建設負担金	96,135,747	83,038,616	13,097,131	115.77
	雨水施設建設改良費	166,296,007	273,744,958	△ 107,448,951	60.75
	農業集落排水施設建設改良費	103,086,500	117,052,100	△ 13,965,600	88.07
	固定資産購入費	0	946,000	△ 946,000	皆減
	企業債償還金	619,438,884	652,897,510	△ 33,458,626	94.88
		1,734,830,749	1,760,860,548	△ 26,029,799	98.52

【増減の大きな項目】

- 污水管渠建設改良費：污水工事費の増などにより約1億6百万円の増加
- 雨水施設建設改良費：雨水幹線整備工事の翌年度繰越に伴い約1億7百万円の減少

資本的支出の合計は約2千6百万円の減少となりました。

【キャッシュフロー計算書】（計算式は水道事業 7ページ参照）

資金期末残高

$$\begin{aligned}
 &= \text{資金期首残高} + (\text{①業務CF} + \text{②投資CF} + \text{③財政CF}) \\
 &= 585,374,067 \text{ 円} + (670,466,352 \text{ 円} - 588,319,452 \text{ 円} + 287,620,790 \text{ 円}) \\
 &= 955,141,757 \text{ 円} (369,767,690 \text{ 円の増加) }
 \end{aligned}$$

(5) 貸借対照表

表 22 貸借対照表の概要

単位：千円

単位：千円

			R6.3.31	R5.3.31	増減額	
資産の部	固定資産	有形固定資産	36,665,023	37,080,549	△ 415,526	
		無形固定資産	2,695,765	2,732,584	△ 36,819	
		投資その他資産	1,696	1,696	0	
			39,362,484	39,814,829	△ 452,345	
	流動資産	現金預金	955,142	585,374	369,768	
		未収金・貸倒引当金	266,737	263,221	3,516	
		前払金	152,200	100,300	51,900	
			1,374,079	948,895	425,184	
			40,736,563	40,763,724	△ 27,161	
負債資本	負債の部	固定負債	企業債	6,985,429	7,260,522	△ 275,093
				6,985,429	7,260,522	△ 275,093
		流動負債	企業債	605,592	619,438	△ 13,846
			未払金	558,527	406,846	151,681
			前受金	135,000	0	135,000
			引当金	12,295	11,588	707
			その他流動負債	180,257	164,926	15,331
				1,491,671	1,202,798	288,873
		繰延収益	長期前受金	23,720,413	23,319,188	401,225
			収益化累計額	△ 5,472,994	△ 4,374,526	△ 1,098,468
			建設仮勘定長期前受金	170,666	90,922	79,744
			18,418,085	19,035,584	△ 617,499	
				26,895,185	27,498,904	△ 603,719
	資本の部	資本金		13,473,465	12,896,905	576,560
		利益剰余金	資本剰余金	367,913	367,913	0
			利益剰余金	0	0	0
			367,913	367,913	0	
			13,841,378	13,264,818	576,560	
			40,736,563	40,763,722	△ 27,159	

【主な分析指標】

自己資本構成比率 = 自己資本(資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 総資産(負債+資本) × 100
 (総資産に占める自己資本の割合を示すもので、この割合が大きいほど経営が安定している)

固定資産対長期資本比率 = 固定資産 ÷ (自己資本+固定負債) × 100

(長期の安定性を示すもので、100%以下が望ましい)

流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100

(短期債務に係る支払い能力・運転資金の状況を示すもので 200%以上が望ましい)

表 23 主な分析指標の過年度推移

単位：%

	R1	R2	R3	R4	R5
自己資本構成比率	77.3	78.2	78.9	79.2	79.2
固定資産対長期資本比率	101.1	101.0	100.8	100.6	100.3
流動比率	63.3	65.8	72.2	78.9	92.1

2. 4. 経営指標

(1) 経常収支比率

経常収支比率＝（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×100

表 24 経常収支比率の過年度推移

	R1	R2	R3	R4	R5
経常収支比率	102.47	93.93	100.19	99.74	101.05

単位：％

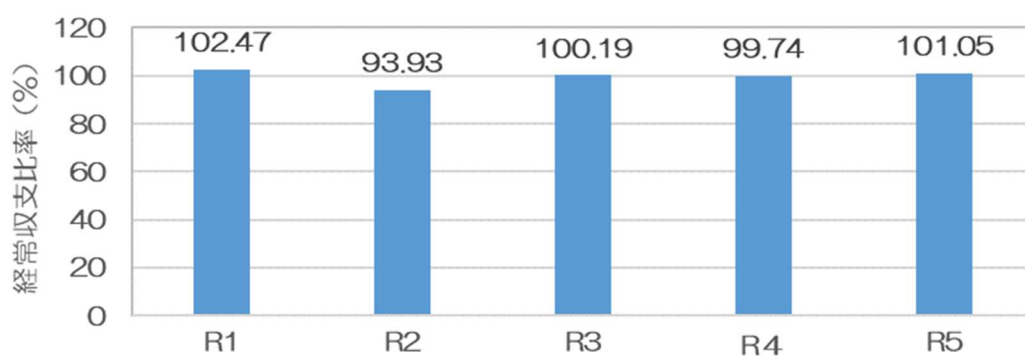


図 20 経常収支比率の過年度推移

(2) 企業債

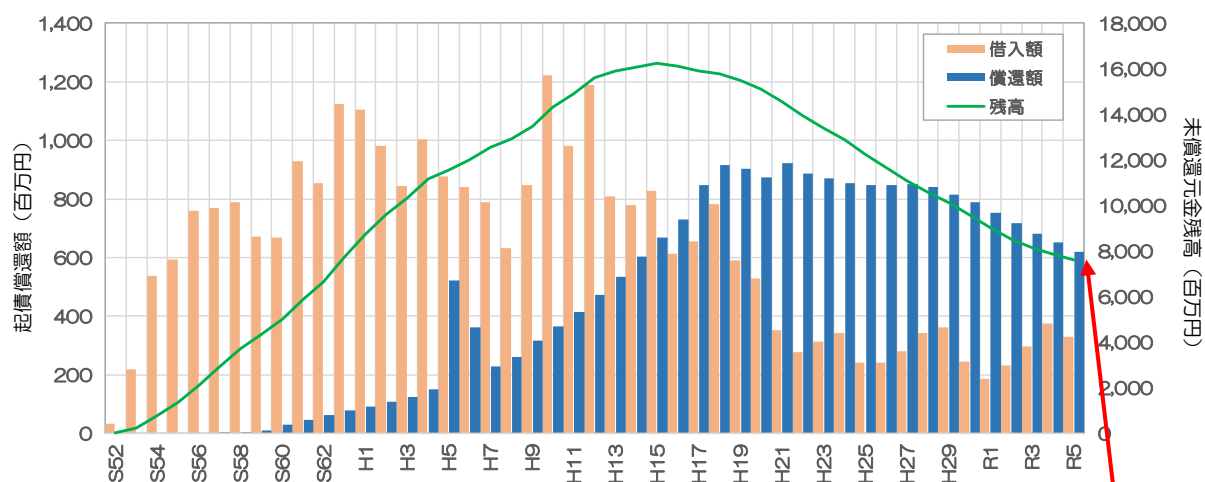


図 21 企業債の借入額と償還額、残高の実績

R5末残高：75億9千万円

2. 5. 長期経営計画の進捗

(1) 全体計画の達成率

全体計画の達成率＝供用開始面積÷全体計画面積

表 25 長期経営計画の進捗

単位：％

	R2	R3	R4	R5	R13目標	R24目標
全体計画の達成率	61.43	62.26	62.43	63.50	90	100
(全体計画変更後の達成率)	(70.87)	(71.83)	(72.03)	(73.26)		

※全体計画変更手続きの途中のため、全体計画変更後の達成率見込みを括弧内に記載

(2) 一般会計繰入金

表 26 一般会計繰入金の過年度推移

単位：千円

	R2	R3	R4	R5
3条繰入金	415,857	582,839	564,835	688,316
基準内	294,860	281,691	274,723	383,825
基準外	120,997	301,148	290,112	304,491
4条繰入金	694,184	590,407	686,016	705,951
基準内	77,337	122,068	76,881	129,391
基準外	616,847	468,339	609,135	576,560
合計	1,110,041	1,173,246	1,250,851	1,394,267
基準内	372,197	403,759	351,604	513,216
基準外	737,844	769,487	899,247	881,051

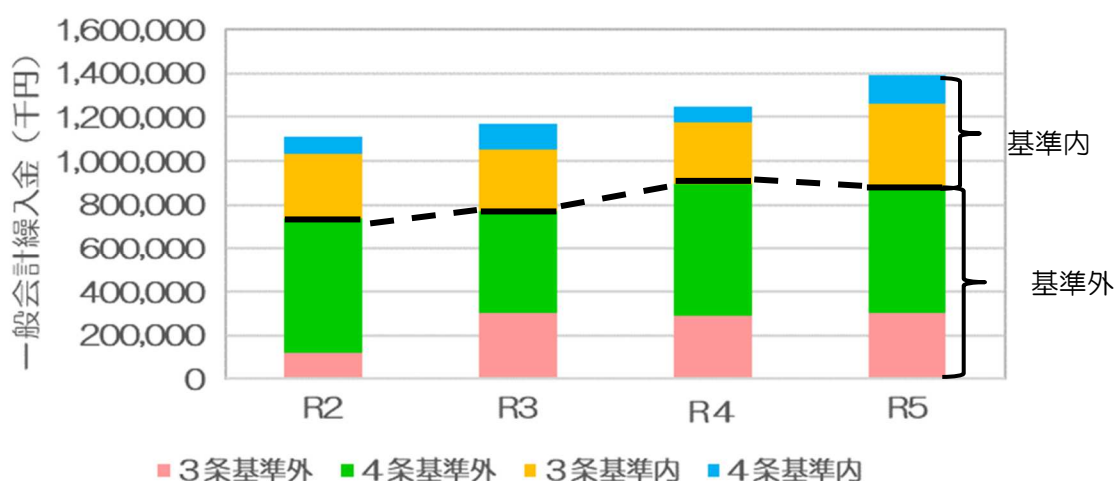


図 22 一般会計繰入金の過年度推移

(3) 経費回収率

経費回収率＝使用料単価÷汚水処理原価×100

表 27 経費回収率の進捗

	単位	R2	R3	R4	R5	R13目標	R33目標
使用料単価	円/㎥	88.7	88.8	89.3	89.3	—	—
汚水処理原価	円/㎥	150.9	151.0	152.0	151.3	—	—
経費回収率	%	58.8	58.8	58.8	59.0	100.0	100.0

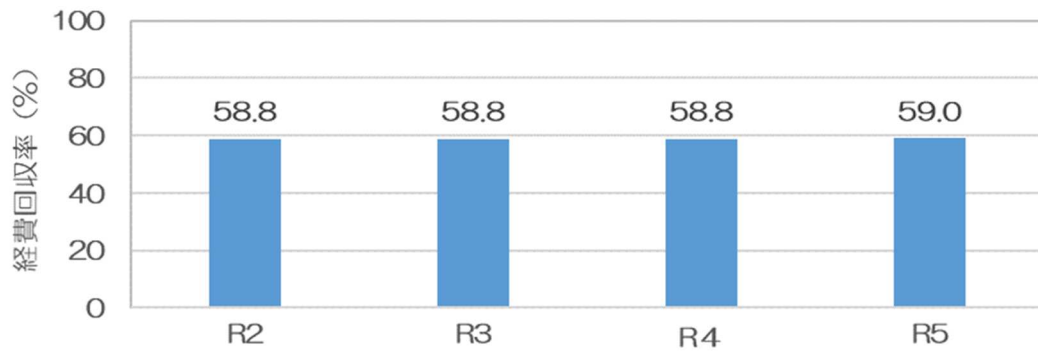
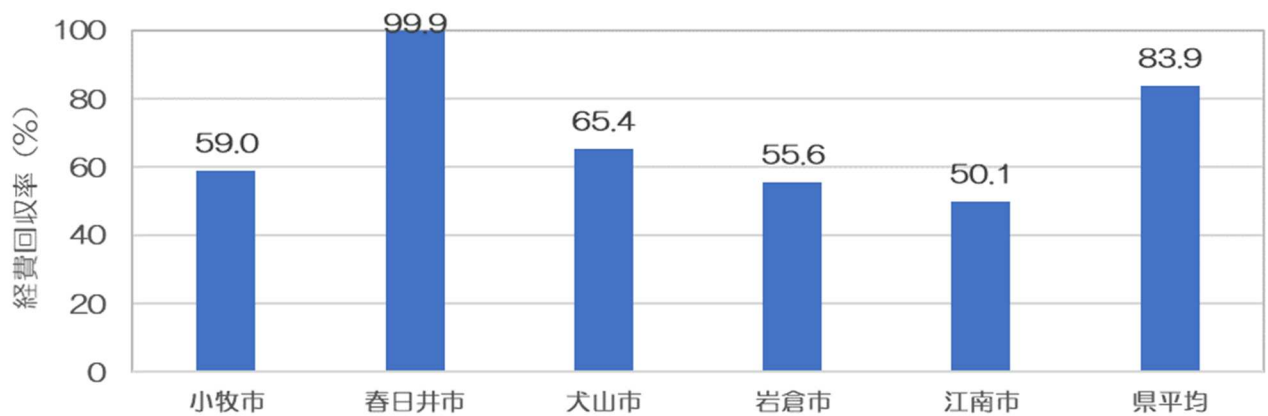


図 23 経費回収率の過年度推移

近隣市との比較（小牧市は令和5年度、その他は令和4年度の数値）



(38市平均)

図 24 経費回収率の近隣市比較

2. 6. 社会資本総合整備計画の進捗

社会資本総合整備計画とは、国土交通省の補助金を要望活用して事業を実施する時に作成する計画で、目標指標により補助金の有効活用を確認するものです。

(1) 小牧市における良好な水環境の形成（重点計画）

対象事業：污水管新設事業

計画期間：令和3年度～令和7年度

進捗状況：目標達成に向け污水管整備を進めています。

	事業費・目標指標	現況(R5末)	計画事業費・目標値	
			中間(R5末)	最終(R7末)
1	補助対象事業費（補助率 50%）	624 百万円	—	1,286 百万円
2	下水道処理人口普及率	78.30%	79%	81%

※事業費は令和6年度への繰越分 176 百万円を除いた額

(2) 小牧市における良好な水環境の形成と浸水対策による被害の軽減（防災・安全）

対象事業：①ストックマネジメント計画策定

②桃花台污水中継ポンプ場改修工事

計画期間：令和2年度～令和6年度

進捗状況：令和4年度に策定したストックマネジメント計画に基づき桃花台污水中継ポンプ場の更新工事を進めます。

	事業費・目標指標	現況(R5末)	計画事業費・目標値	
			中間(R4末)	最終(R6末)
1	補助対象事業費（補助率 50%）	84 百万円	—	248 百万円
2	ストックマネジメント計画の策定率	100%	100%	100%
3	桃花台污水中継ポンプ場工事進捗率	0%	0%	46%